Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第21号
平成17年7月15日
（2005年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　0424-64-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



いこいの森公園の噴水近くで遊ぶ子どもたち

平成17年
第2回臨時会
第2回定例会

平成17年度予算を可決

一般会計、特別会計の総額は1千3億1千396万円

5月20日から開催した第2回定例会では、初日に市長の施政方針が示され、続く23日から26日までの4日間で施政方針に対する各会派の代表質問・一般質問を行いました。

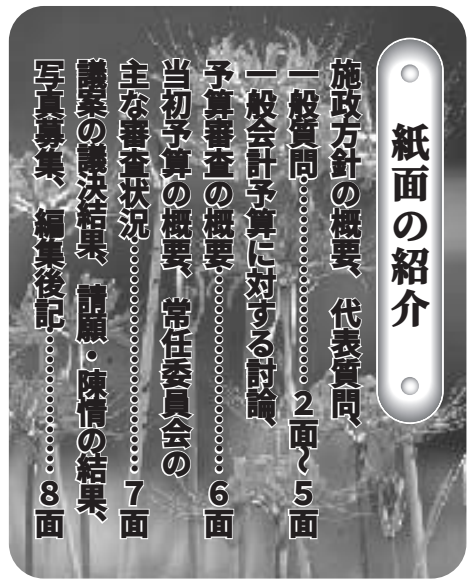
今定例会は、当初6月14日までの26日間の会期での開催を予定していましたが、予算その他の議案審査のため、会期を2日間延長しました。

今定例会に市長から提出された議案は26件で、「平成17年度西東京市一般会計予算」等9件は予算特別委員会を設置し付託、「市民交流施設条例」等11件については、各常任委員会に付託して審査を行い、本会議では、各委員会からの報告を受け18件を可決、「市長等の退職手当の特例に関する条例」等2件を継続審査としたほか、工事請負契約の締結について4件、収入役・監査委員の人事2件について同意しました。

皆様から提出された陳情は「こもれびホールの事業存続に関する陳情」等7件で、継続中の6件を含めて各委員会で審査し、4件を採択（趣旨採択2件）、5件を不採択、4件を継続審査としました。なお、このほかに請願1件、陳情2件の取り下げがありました。

議員提出議案は「地方議会制度の充実強化に関する意見書」等2件で、2件とも可決し、関係機関に送付しました。

また、第2回臨時会は、4月26日に開催し、「平成17年度西東京市一般会計暫定補正予算（第1号）」等9件は予算特別委員会を設置し付託、本会議で9件すべてを可決、「市税条例の一部を改正する条例の専決処分について」等2件を承認しました。



紙面の紹介

施政方針の概要、代表質問、一般質問……2面～5面
一般会計予算に対する討論、予算審査の概要……6面
当初予算の概要、常任委員会の主な審査状況……7面
議案の議決結果、請願・陳情の結果、写真募集、編集後記……8面

議会日誌（平成17年4月～6月）

4月
5日 駅周辺再開発等特別委員会
13日 議会運営委員会
14日 議会報編集委員会
18日 全員協議会
22日 議会運営委員会
26日 第2回臨時会・本会議、議会運営委員会、予算特別委員会

5月
10日 全員協議会
17日 議会運営委員会
20日 第2回定例会・本会議（施政方針、議案等上程～付託）、予算特別委員会、議会報編集委員会
23日 本会議（代表質問）
24日 本会議（代表質問）
25日 本会議（代表質問）
26日 本会議（代表質問・一般質問、陳情上程～付託）、議会運営委員会
30日 企画総務委員会、厚生委員会
31日 文教委員会、建設環境委員会

6月
1日 駅周辺再開発等特別委員会
2日 予算特別委員会、議会運営委員会
3日 予算特別委員会
6日 予算特別委員会
7日 予算特別委員会
8日 予算特別委員会
9日 予算特別委員会、議会運営委員会
10日 予算特別委員会、議会運営委員会
13日 文教委員会、建設環境委員会
14日 本会議（議案訂正、会期の延長）、議会運営委員会、文教委員会、建設環境委員会、予算特別委員会
16日 本会議（委員会審査報告、議案・議員提出議案上程～議決）、議会運営委員会
29日 議会報編集委員会

声の議会報をお届けしています。
お知り合いの方でご希望される方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎65-0823）へお問い合わせください。

施政方針の概要・代表質問・一般質問（1）

施政方針の概要

6月定例会では、施政方針に対する代表質問と一般質問を行いました。質疑応答に関する資料として施政方針の概要（主な項目）を掲載します。

なお、施政方針の内容は市報6月1日号に掲載しているほか、両庁舎の情報公開コーナー、各図書館、ホームページにて全文をご覧いただけます。

《基本的な考え方》
政権公約に掲げた42の目標と基本理念の実現に向けて基礎づくりに取り組む。
《基本的な政治姿勢》
・3期12年の多選自粛を宣言
・市長車の廃止
・市長、常勤特別職、教育長の退職金を20％削減
《情報公開・市民参加・説明責任》
・車座集会の実施
・予算編成方針の公開
・予算編成過程の情報公開等について調査研究を開始
・財政白書の作成
・ホームページの充実
《魅力あるまちづくりの推進》
・ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進
・地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定
・「まちづくり条例」制定に向け準備を開始
・保谷駅南口地区市街地再開発事業の推進
・保谷駅のバリアフリー化
・都市計画道路の整備
《子育て、健康長寿の推進》
・北原児童館とみどり保育園の建てかえ
・田無保育園の建てかえに向けた実施設計
・住吉福祉会館の建てかえに向けた実施設計
・地域型在宅介護支援センターの開設
・認知症高齢者グループホーム2カ所の整備
・知的障害者グループホーム2カ所の整備
・各種検診事業等の充実
・近隣4市による平日準夜の小児救急医療事業の実施には健康管理にも大変いい。
質問 一党一派に偏しない市政運営をマニフェストに掲げているが、都議会議員選挙には、推薦・応援弁士として参戦するのか。
市長 推薦については一切考えていない。
質問 市道等の新設・拡幅について問う。
市長 生活道路の整備を進めるため、道路整備計画・交通計画を18年度に策定する予定。
質問 かえで通りの電線地中化を積極的に進めると明言しているが、実現は。
市長 今後必要性を検討し、事業計画に位置づけて整備していきたい。
質問 建築確認事務を都から移管する考えはないか。



《みどりの創造とリサイクルの推進》
・下野谷遺跡の用地取得と公園化に向けた実施設計
・東大農場移転に関する市民参加検討組織の設置
・（仮称）リサイクルプラザの建設工事着手を1年延伸し施設機能を再検証
《防災・防犯等と地域の底力》
・災害対策の計画的推進
・溢水対策等の計画的推進
《教育・スポーツ・芸術文化振興》
・青嵐中の建てかえ工事着手
・田無四中の校舎耐震補強工事着手
・明保中体育館大規模改造工事着手
・田無小、芝久保小の体育館大規模改造工事実施設計
・言語の通級指導学級の施設整備の推進
・障がい（害）児の介助員設置の積極的検討
・小学校のパソコン配備の計画的推進
・総合型地域スポーツクラブの開設
・スポーツ振興計画策定に向けた検討
・芸術文化振興条例の検討
《産業・NPOなどの振興》
・地元産農産物のPR
・地産地消の仕組みづくり
・体験農園2カ所の設置
・アニメ企業等との連携の調査研究
《行財政改革の推進》
「市民の納得が得られるサービスの提供」「強固な財政基盤の確立」「改革の推進方の維持強化」を柱とする第二次行財政改革大綱を策定

自由民主党

『財源なきマニフェスト』基金の食いつぶしと市民負担の押しつけか？

平井　勝
大塚光男
稲垣裕二
浅野髙司
酒井　澄

質問 厳しい財政状況下、このままでは2年先には基金が底をつくことが想定される。対応策について問う。
市長 職員定数の削減、徴収率向上、受益者負担の適正化、補助金の見直しにより新たな財源を生み出す。
質問 行財政改革推進委員会の答申を尊重するのか。
市長 答申を高く評価し、尊重していく。
質問 8月の大綱策定に当たり、事務事業全般についての民間委託などの実施時期・定員適正化・組織編成はどのように考えるのか。
市長 これから大綱を検討する。検討結果をお待ちいただきたい。
質問 財政健全化に向けた取り組みはどうするのか。
市長 行財政改革を進めるに当たってわかりやすい形で公表し、可能な限り市民の意見を取り入れる。
質問 タウンミーティング即実施は。開始時期・手法について問う。
市長 7月から19地区で実施したい。可能な限り小学校を利用し、平日夜間や土曜の午後等にテーマを定めず地域の声を聞きたい。開催状況はHPに公表予定。
質問 市長車廃止による費用対効果について問う。
市長 環境に配慮や経費の削減を目的とする。個人的には納得できる行政が求められている。情報公開、説明責任はそのためだ。市長の考えを聞きたい。
市長 100％の満足ができないても納得できる政治というものには賛成だ。その手法としてマニフェストをつくった。4年間の結果で評価してほしい。



郷土資料室の展示室（西原町4丁目）

市長 創意工夫を凝らしながら年度内の実現に努める。
質問 下野谷公園と周辺地域について、都との連携はどうするのか。
市長 都と協力して自然が回復し、遺跡の学習ができるような場にしたい。
質問 学校現場における国旗・国歌の指導は、国民として基本的な内容を身につけるものと考えるが、見解を問う。
教育長 国旗・国歌の意義を理解させ、尊重する態度を育てることは重要であり、指導するものである。
質問 少人数学級実現のため取り組んでいくのか。
教育長 現行制度では難しい。少人数指導の充実拡大を図っていきたい。
質問 各種スポーツ施設の整備拡充について問う。
教育長 17年度中にスポーツ振興計画を策定していきたい。スポーツクラブ開設については、設立準備委員会を中心に年度内の開設を目指す。

無所属

市長の言葉は重い。権限と責任の自覚を！

森　輝雄

質問 行革審の答申に「満足と納得」との表現があった。「納得できる行政」は私の最大の主張。今は財源に限りがあり、満足より以上に納得できる行政が求められている。情報公開、説明責任はそのためだ。市長の考えを聞きたい。
市長 100％の満足ができないても納得できる政治というものには賛成だ。その手法としてマニフェストをつくった。4年間の結果で評価してほしい。
質問 住吉福祉会館と保谷駅南口の見直しはできなかった。言葉が現実とかけ離れているのではないか。コンシェルジュ（門番）という言葉は現状の何が問題で出されてきたのか。また、市長の言う政策官庁とは何か。
市長 計画は一定の積み上げがなされ、8合目くらいまで来ていた。その先をどうするのかで判断した。
意見 コンシェルジュという言葉が出てきた背景は答えず、政策官庁の具体的な説明はなかった。残念だ。
質問 障害者自立支援法を見据えて、市としてどんな施策を考えていくのか。
市長 法案審議の最中だ。方向が見えたら基本方針を示す。障害者の様態に合った福祉サービスを提供していく。土地や建物を望む障害者団体にはきちんと提供する。家賃補助的なものはやめ、その分人やサービスにかける体制をつくりたい。
意見 地域に住む障害者の生活を支える視点が必要だ。そんな答弁と受け取った。
質問 児童虐待防止のシステムをどう機能させるのか。
市長 協議会を通じて関係機関との連携を強化し、虐待防止、並びに早期発見、的確な対応に努めたい。

代表質問・一般質問（2）

市民クラブ
政権公約の着実な実現で18万市民の負託に応えよ

相馬和弘
猪野滋

市長就任後、初めての本予算と施政方針の提案となった。18万市民の負託を受け、市民ニーズに的確にこたえるよう市長に期待する。

質問 合併先進市として、その成果をどう地方に発信するのか。

市長 地域の特性や資源を再発見し、これらを有効に活用したまちづくりを進め、全国に範を示す。

質問 生活者の視点でのサービスとして窓口相談業務の充実をどう図るのか。

市長 2庁舎体制の課題と問題点を調査・検討する。

窓口総合課やフロアマネジャー設置を検討する。

質問 車座集会（タウンミーティング）の具体的な持ち方について問う。

市長 1年間をかけ小学校区19地区で実施し、地域住民の率直な声を聞く。開催状況についてホームページで公表する。

質問 政権公約実現のための財源確保について、どう取り組むのか。

市長 補助金を含めた事務事業の検証・再編、定員適正化の推進などの取り組みを着実に進める。

質問 予算編成に当たり財源不足にどう対応したのか。

市長 三位一体改革の影響もあり、当初13億円の財源不足に対し、人件費削減で約3億円、行政経費の見直しで約7億円を削減したが、3億円を積み残した。さらに7億円の自然増があり、10億円の財源不足に対して基金の取り崩しで対応せざるを得なかった。


芝久保バラ園（芝久保町2丁目）

質問 将来的な財政見通しはどうか。

市長 大変厳しい見通しを持っている。

質問 指定管理者制度について市民から不安の声が出されているが、取り組み状況はどうか。

市長 今定例会に条例提案しているが、利用者団体の意見を踏まえて行う。

質問 東大農場についてどう取り組むのか。

市長 懇談会経費を計上した。早い時期に東大を訪問する予定である。

質問 みどりの創造及び地球温暖化対策実行計画について問う。

市長 今後建設する公共施設は、屋上、壁面等を含めて緑化を進める。温暖化防止は、法に基づき全庁的に取り組む。事業者の温室効果ガスの排出抑制を図る。

質問 総合型地域スポーツクラブについて伺う。

教育長 コーディネーターの養成支援を行っている。体験教室は、小学生バドミントンを予定している。

民主党西東京
合併から5年目を迎え さらなる行財政改革の推進を

二木孝之
山崎英昭
桐山ひとみ

4年前を振り返ると、6月定例会で本予算が成立したが、3月定例会では初代市長により暫定予算が提案され、合併協議会でまとめられた市民の皆様への約束、新市建設計画の事業執行にストップがかかっていた。

西東京市誕生から5年目を迎え、市長選挙後のやはり6月定例会に当たり、坂口新市長より提案された本予算を踏まえ、施政方針に対して質問をする。

自治体間の連携強化を問う

質問 政権公約の基本理念の一つに「オンリーワンの西東京市」が掲げられているが、各市区町村の自治能力の強化、効率的・効果的な行政サービスのための自治体間の連携強化を問う。

市長 市単独での取り組みが難しい課題や、費用対効果が高く効率的な事業執行には広域的な連携が欠かせない。特に、道路整備や鉄道の立体交差による踏切問題の解消など、今後も近隣市などを含む広域的な取り組みを行っていきたい。

質問 合併から5年目を迎えた。今後の行財政改革の取り組みについてお示しを。

市長 さらなる行財政改革を積極的に進めることが不可欠である。行財政改革推進委員会の答申を踏まえ、私みずからが先頭に立ち、将来にわたり市民の皆様の負託にこたえていくことのできる行財政運営の基盤を確立していく決意である。

情報公開・市民参加を問う

質問 これからの行政運営には市民参加と市民との協働が必要不可欠である。より多くの市民の皆様に行政を支えていく担い手となっていただくためには、積極的な働きかけや情報公開が必要と思うが、ご所見を。

市長 市が必要な情報を市民に提供し、積極的に市政に参加していただけるように努める必要がある。また、施策の実施結果も市民に説明する責任がある。これにより、透明性や信頼性を確保できるものと考えている。

都営住宅の市への移管

質問 高齢者・障害者等への対策として、都営住宅の市への移管についてメリット、デメリットのお示しを。

市長 東京都は都営住宅の市区町村への移管事業を進めており、高齢者・障害者等の住宅対策として活用できる可能性がある。

都市整備部長 デメリットは、市の管理等の負担がふえるだろうと予想される。

小児医療の充実について

質問 小児の準夜などにおける初期医療への対応では、小児科専門医師の診察は行われないのか。

市長 広域的な小児初期救急医療事業については、北多摩北部医療センターにおいて、4市の行政と5市医師会による都内初の広域的な小児初期救急医療体制を構築し、6月以降平日準夜間帯の小児初期救急診療が実施される予定となった。

市独自対応として、中町分庁舎を利用した、小児科医師の電話による平日準夜間帯の相談事業は可能。


中町分庁舎（中町1丁目）


都営住宅跡地（新町1丁目）



立ち上げ時期、会の役割は。人選は設置目的の「緑を残す」を主眼に置くべきでは。

答弁 予算議決後に立ち上げる。検討内容は会で協議したい。人選は軸足を緑に置きつつ、多様な意見反映ができるよう配慮したい。

行財政改革は市民参加で リサイクルプラザ建設延伸

無所属
土井節子

行財政改革

質問 行革委員会の答申を受けて8月に行革大綱が策定されるが、住民負担や住民サービスにもかかわる。案の段階で公開し、住民の意見を聞くべきと考えるが。

答弁 答申同様、市報とホームページで公開し、市民意見を求める。

実施計画の見直し

質問 市長のマニフェストで公表する。

答弁 事業見直しに伴う課題問題等の整理を指示した。コストの縮減を図りたい。

DVシェルターへ補助を

質問 DV（家庭内暴力）は大きな社会問題となっている。公的施設がないため民間が担っているシェルターに補助すべきと考えるが。

答弁 シェルターの必要性は認識している。補助金の見直し作業などを踏まえながら研究検討したい。

東大農場

質問 市民参加の検討会の中には実施計画の見直しがある。三位一体の改革や社会状況の変化を踏まえ、実施計画・基本計画の見直しが必要ではないか。

答弁 第二次行革大綱による見直しや後期計画についての見直しが必要と考える。

リサイクルプラザ建設

質問 マニフェストに沿って、市長が1年間計画を延伸したことを評価する。ゼロベースからの見直し、規模縮小、職員詰所の必要性など、費用対効果を十分再検証して、1年を有効に生かせ。

答弁 事業見直しに伴う課


東大農場（緑町1丁目）

代表質問・一般質問（3）

日本共産党西東京市議団
小学生の医療費無料化、グループホームの増設、30人学級・中学校給食実施を

安斉慎一郎　大川真理子　保谷清子　倉根康雄　高梨功　原時美　葉

夜間小児救急医療の充実を

質問 小児救急医療の充実について伺う。

市長 小児科医の不足問題から、近隣4市と5医師会の協力を得て実施する。

保健福祉部長 診療は、週2日、火・金曜日、午後7時半から10時半までセンターで対応する。

小学生の医療費の無料化を

質問 乳幼児医療費の所得制限をなくし、小学生の医療費無料の実施を。

市長 来年度以降の実施に向け取り組みたい。

保育園の民営化の見直しを

質問 みどり保育園の民間委託は、父母の66％が否定的な意見を持っている。情報公開と説明責任は不十分。再検討を。

市長 みどり・田無保育園で、民間委託については保護者全体の説明会を行った。当面は建てかえと、民営化を進める。

児童館・学童クラブの充実を

質問 児童館の夜間開館の現状と問題点、学童クラブの充足状況と障害児の受け入れについて伺う。



市長 北原児童館の建てかえにあわせ、学童クラブを新設し、近隣施設の定員超過対策を図る。

児童青少年部長 学童クラブでの障害児の受け入れは48人。また、児童館の夜間開館は中高生の居場所のために行っている。昨年度は下保谷・田無柳沢児童センターで、それぞれ1千人余の利用があった。

子どもの権利条例を

質問 子どもの権利条例の制定を。

市長 平成19年度から検討し、子どもたちを含む多くの市民の意見を取り入れたい。そのために、子どもの権利擁護の啓発、広報の充実に取り組む。

特別養護老人ホーム待機者対策を

質問 30人未満施設の整備、特養ホームの増床の検討、グループホームの増設を。

市長 700人近い待機者がいる。グループホームの増設や介護支援センターの開設など可能な支援をしたい。

リサイクルプラザ建設計画の見直しを

質問 リサイクルとは名ばかりで、職員詰所とパッカー車の駐車場。啓発の施設なら消費者センターや公民館でやれる。建設中止を。

市長 見直し期間は1年とし、ゼロベースの場合も含め、どうなるか説明できるような準備もしたい。



親子体験農業

野菜づくり公開講座を

質問 農家の方に、市民対象の野菜づくり講座を要望する声が多い。見解は。

市長 家族農園を新設した。農業者への補助、農家と市民の交流の促進、援農ボランティア育成事業、親子農業体験の継続実施を予定している。

30人学級の実施を

質問 30人学級を実施した学校では「不登校が減った」「学力回復の効果があった」と報告されている。市内の小中学校では40人を超える学級があり、改善が急がれる。

教育長 少人数学級を市独自で実施するためには、課題が多いが、先例自治体の事例を参考に検討したい。

介助員の配置を

質問 普通学級に通う障害児への介助員配置に責任を。

教育長 費用負担や学校経営指導上の問題など、他市の事例を参考に保護者等と十分協議し、実態に即した対応をしたい。

学校教育部長 町田市、日野市、区部を視察した。介助員をつける際のコーディネート、介助員の確保などの検討を行って、教育委員会としての位置づけをして実施したい。

中学校給食の開始を

質問 現在の外注弁当は学校給食とは言えない。中学校完全給食を検討し、実施せよ。

教育長 中学校給食のあり方について、引き続き検討していく。

学校教育部長 初年度で10億円の経費がかかるので、財政的な負担を含めた検討をしている。

自由民主党西東京市議団
緊縮型予算編成の17年度予算
坂口新市長の基本的政治姿勢を問う!!

小林たつや　鈴木久幸　遠藤源太郎　海老沢進　中山寛子　保谷育彦

市長の基本的政治姿勢について

質問 緊縮財政を余儀なくされた平成17年度予算であるが、坂口新市長の基本的政治姿勢を問う。

答弁 マニフェストの実行を目指し、市民の声を生かした開かれた市政、活力あるまちづくり、合併してよかった、いつまでも住み続けたいと思えるまちにする。

地元企業への配慮について

質問 依然厳しい経済状況の中、地元企業への配慮等についてどう考えているか。

答弁 経済の活性化、雇用、納税、防災の面からも電子入札等で市内業者が優遇される制度を考えていく。また、JVの導入も工事規模、内容等を精査し、検討する。

総合窓口について

質問 総合窓口、ワンストップサービスの導入等の検討はどうなったか。

答弁 市役所は市内最大のサービス機関であり、税金で賄われているとの認識が重要。要望、苦情等も参考に検討していく。

新町都営跡地について

質問 マニフェストにもある新町都営跡地のその後は。

答弁 都と連携を密にし、近隣の市民等の意向を聞き、引き続き要請していく。

意見 高齢者施策としてケアガーデン設置の検討を。

ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりについて

質問 北口の整備を早急に進めるべきと思うがどうか。

答弁 街路事業中心に18年には基本設計を行う予定。

北原交差点について

質問 旧道部分のパイロンを外し、人や自転車が通れるようにできないか。

答弁 都、警察、市の3者で協議しつくったものなので、中長期的に考えていきたい。所沢街道沿い側の歩道は拡幅予定である。

意見 市民のための交差点となるようお願いしたい。

西原樹林会「青い鳥」について

質問 建設補助金の返還金等について伺う。

答弁 返還請求による納付があれば、毎年892万円の補助も行う予定である。



ひばりヶ丘駅北口

公園行政について

質問 せせらぎ公園の修理地がそのままである理由、観察池等の改修について。

答弁 修理地については近隣住民の方との関係、植栽等への変更で理解が得られるか検討したい。池等については今後改修を考える。

ドッグランについて

質問 ドッグランを公園等に設置できないか。

答弁 現状では困難である。

意見 都立公園のような大きなものでなく、10m四方でもよいので検討願いたい。



ワンワンパトロールについて

質問 犬の散歩をする方々の防犯協力を得てはどうか。

答弁 一部地域で既に行われている。



谷戸せせらぎ公園（谷戸町1丁目）

意見 予防注射のときに防犯と書いたトートバック等を配ってはどうか。

セカンド・スクール、友好姉妹都市との多面的交流について

質問 武蔵野市で実施されているセカンド・スクール（通常の学習では体験しにくい学習を自然豊かなところに長期滞在して行う）を、友好姉妹都市と提携するなどにより行えないか。

答弁 武蔵野市では1億1千万円くらいかけており、当市では困難であるが、友好姉妹都市とのさまざまな提携の中で考えていきたい。

過激な性教育について

質問 国会でも問題になっている過激な性教育が一部小中学校で行われていると聞く。本市の状況はどうか。

答弁 当市ではそのようなことは行われておらず、学習指導要領に基づき、保護者の理解を得られるもの、子どもの成長に合ったもの、教育指導計画に合ったものを採用し、教育している。

深刻化する児童虐待問題について

質問 母親が幼い子を殴ってけがをさせ、または殺してしまう悲惨な事件がふえている。市の対策は。

答弁 4月に「児童虐待防止協議会」を設置し、対策を検討している。

代表質問・一般質問（4）

西東京市議会公明党
健全財政を確立するために行財政の改革を断行し市民サービスの向上を図れ！

岩越笙子　中田恵美子　小幡勝己　衣袋一夫　新井五郎　佐々木順一　鈴木宏一

意見　危機的状況を乗り越えるには行革の断行が不可欠である。市長の強力なリーダーシップを求める。

２００７年問題について

質問　団塊の世代が2年後に一斉に定年を迎えることになる。市の実態把握と市政への影響については。

答弁　職員の退職者は59人、退職手当は約17億円と推計している。市税への影響もシミュレーションする。

１市２庁舎体制について

質問　市長は2庁舎体制がよいとする市民はいないと答弁している。ならば一日も早く計画を立てて進めるべきではないか。

答弁　課題問題点を調査研究していく。いつの時点でマニフェストが反映された具体的事業について

質問　施政方針で、今年度はマニフェストの基礎づくりの年と位置づけているが、前市長の市政を踏襲しているにすぎないのではないか。役人主導・積み上げ型の予算システムを撤廃して市民参加の手法を本予算に反映させられたのか、財源を捻出して新たに取り組んだ事業を具体的に示せ。

答弁　市民参加の手法としてはホームページに予算編成方針を載せた。タウンミーティングは、本定例会終了後実施の予定で検討しているところである。

市財政の今後の推移と見通しについて

質問　今年度は基金を取り崩して予算編成を行っているが、基金残高は落ち込み19年度にはゼロになるという危機的状況にある。市長は歳入に頼らず、事務事業の点検・受益者負担の断行を考えていくとしているが、具体的な取り組みは？マニフェストとの整合性は？優先順位はどうするのか。

答弁　3月に出された第二次行財政改革の答申を踏まえ、大綱を策定していく。職員定数の削減、既存の政策を整理統合し、補助金の見直しを進め、新たな財源を生み出す。マニフェストとの関連は、行革大綱さらにアクションプランの中で精査・調整していく。

生活者ネットワーク
市民サービスの見直しは影響を受ける市民の参画で

渡辺嘉津子　森下典子　保谷七緒美

自治基本条例の制定を

質問　自治分権社会のまちの基本的ルールを定めた自治基本条例制定の今年度の取り組みは？意志ある市民全員の参加で策定せよ。

答弁　条例の理解を深める職員研修と市民も参加できる全庁的研修会開催も考えている。4年間で制定する。

事務事業の総点検

質問　第二次行革大綱に向けた事務事業の総点検はどんな手法でやるのか。

答弁　合併時の、サービスは高く、負担は低くしたものや環境の変化で見直しが必要なものなどが対象。説明責任と可能な限りの市民意見の反映を考えている。

要望　見直しは市民の痛みを伴う。市民合意を得るには、事業の必要度や行政がやるべきことの守備範囲など市民にわかりやすい指標を示し、情報公開と市民参加で行う必要がある。

東大農場の緑地保全

質問　①農場の価値への認識は。②市民参加の検討懇談会の位置づけは。

答弁　①自然の宝庫。歴史・教育など多様な価値がある。②豊かな自然を残す視点での運営を考えている。

リサイクルプラザ見直し

質問　市民参加条例25条に基づき、建設しない場合を含め複数のシミュレーションを提示し、市民に問え。

答弁　見直し期間を1年間とし、一定の市民参加で進める。

保育園の民間委託

質問　みどり保育園の民間委託後の計画と委託による職員の処遇は。

答弁　10年間で7園を計画している。職員については市立保育園を5ブロックに分け、基幹型保育園を設置して子育て支援の強化を目的として配置していく。

保育ママ制度について

質問　都は認証保育所と保育ママとを橋渡しするモデル事業を実施した。かねてより江戸川区方式の都の研修制度導入による保育ママの拡充を提言しているが。

答弁　資格の問題があるが、待機児童の現状もあるので引き続き研究していく。

保谷中体育館建てかえ

質問　学校は地域の資産である。近隣に配慮し、体育館は半地下にして、プールはドーム型・温水にして広く活用できるように。

答弁　ドーム・温水・半地下については非常に難しい。

小中学校の統廃合

質問　合併により市境の統廃合ができ有効活用されると期待されていた。5年間の状況の変化は承知しているが、今後の取り組みは。

答弁　ここ数年のマンションの建設により児童数が増加している。今後とも調査研究していく。

少人数学級について

質問　都基準では少人数学級はできない。マニフェストの少人数学級の実施とあるのは、教育長の言う少人数指導とは違うという理解でよいのか。

答弁　そのとおりである。

食育について

質問　不規則で、バランスの崩れた食事などが健康被害や病気の原因になっている。小中学校で食育を推進して、正しい食生活習慣を身につけさせる必要がある。

答弁　文科省は栄養教員制度を導入している。保健・学級指導・総合学習で食育を行っている。家庭の食生活、食文化が重要。

学校の危機管理について

質問　学校の門は今でも入ろうと思えば入れる状況。改善すべきでは。

答弁　児童生徒の安全管理には全力を尽くす。扉が開放されたままにならぬようさらに指導していく。


保谷中学校体育館（保谷町1丁目）

子どもの権利条例

質問　子どもの権利についての共有化を図る庁内検討委員会は設置したか。

答弁　当面は啓発・広報の充実と庁内の子ども関連部署で勉強会を重ねたい。

学力調査結果の公表やめよ

質問　学校ごとの平均点の公表は序列化や偏重な点数競争が懸念され、多様な子どもの学ぶ場になじまない。

答弁　学力向上の充実を図りたいので公表する。




芝久保小学校（芝久保町3丁目）

★予算編成過程の市民参加
★財政白書について
★ひばりヶ丘駅南口市所有地活用の市民参加
★地球温暖化防止対策
★都営住宅跡地の緑地保全
★生ごみ堆肥化と循環型農業の拡充を
★地域福祉拠点整備促進
★教科書採択について
★DVシェルターに助成を
★子ども虐待ネットワーク
★NPO支援条例制定を
★市民参加条例の検証

用語の解説



【コンシェルジュ】
ヨーロッパのホテルの門番が鍵を管理する仕事として始まり、切符の手配等宿泊客のために最高のサービスを提供する役職として確立されたもの。昨今では、顧客の相談受付など、付加価値の高いサービスを提供する人という意味でも使われる。

【２００７年問題】
団塊の世代の中でも最多となる昭和22年生まれの人たちが定年退職を迎えるため、特にＩＴ業界において、これまでに培ってきた技術やノウハウなどが継承されないまま、保守などに長年携わってきたベテランが一気に引退することから、深刻な問題を引き起こすと言われ、「２００７年問題」と言われるようになった。現在では、ＩＴ分野に限らず、そのことが及ぼす日本の経済への影響など広い意味で使われることもある。

【指定管理者制度】
地方自治体が所管する公の施設について、管理、運営を民間事業会社を営む法人やその他の団体に、委託することができる制度。公の施設の管理、運営に民間等のノウハウを導入することで、効率化を目指す。
ＮＰＯや自治会・町内会などの市民社会組織も受け皿になれる点が注目されている。

一般会計予算に対する討論・予算審査の概要

一般会計予算に対する討論

平成17年度予算については、市長就任後間もないことから3月定例会に暫定予算が提出され、第2回臨時会ではその補正予算、6月定例会で当初予算を審議しました。ここでは、当初予算に対する討論の内容を掲載します。なお、予算特別委員会における暫定補正予算、当初予算の審査概要を下段に掲載します。

反　対　市民への約束や説明責任を果たせ！

無所属　森　輝雄

今回の予算は、リサイクルプラザの凍結を除けば、前市長の予算を各々減額し、継承しただけ。これなら年度当初に提案が可能だった。ことさらに市民の期待感をあおっただけで、暫定予算の期間、3カ月は意味がないものだったことになる。

保谷駅南口再開発以上に住吉公民館では説明責任が果たされていない。再開発への公民館導入で決着済みという市長の説明では市民は納得できない。実施設計済みのリサイクルプラザに比較し、公民館を除外して基本設計をした段階の住吉福祉会館を凍結しないのは均衡を欠く。市民の期待を裏切る予算には反対だ。

賛　成　疑問符のつくマニフェスト実現度

自由民主党　稲垣　裕二

市税収入は2.6％増であるが、基金の取り崩しは当初計画より10億円増額した。市長の政権公約の反映状況を見ると、●小学生までの乳幼児医療費の無料化は実施せず●小学1年生の少人数学級は現行制度では無理●小学校の普通学級に通学する障害児の介助員制度は予算計上されず●リサイクルプラザは、用地取得済、建築確認済であるにもかかわらず、実施設計を事前に示さず修正設計費を予算計上するなど、実現度合いや手順には疑問符がつくものである。政権公約で示しているよう年間10億円の財源を確保し、財源なきマニフェストとならぬよう求める。

賛　成　プラザ建設延期など公約実現の努力予算

無所属　土井　節子

平成17年度予算は、三位一体改革の影響、市税収入の伸び悩みなど、基金36億円の取り崩しによる予算となった。実施計画事業に加えて「市長車の廃止」「リサイクルプラザ建設の1年延伸」「東大農場懇談会の設置」「タウンミーティングの実施」「予算編成の情報公開」財政白書作成」等予算を必要としないソフト施策に坂口市政の公約実現への努力が読み取れる。市長退職金減額条例も提案された。保谷駅南口再開発事業の説明責任、普通学級に通学する障害児への介助員派遣、小学校1年生30人程度学級など、残された選挙公約実現に取り組むことを求める。

賛　成　市政発展に向け、誠心誠意取り組め

市民クラブ　猪野　滋

厳しい財政環境下、行政の継続性と政権公約目標達成の予算と認識した。まちづくり、子育て支援、高齢者・障害者福祉、環境防災・地域コミュニティ、教育・文化、産業振興等の施策、政権公約の市長車廃止等、目標設定と取り組み開始予定は評価する。三位一体改革の影響により経常経費の削減に努めつつも基金を取り崩したが、基金積立が今後の課題だ。第二次行革大綱を策定実施し、生じた財源は財政健全化への補てんと新たな施策へ振り向ける視点が必要。保谷駅南口再開発は計画を守り、他の事業も市民の意見を聞き、情報公開と説明責任を果たせ。

賛　成　指定管理者制度導入には慎重に対応せよ！

民主党西東京　桐山　ひとみ

坂口市長就任後初の一般会計予算である。三位一体改革の影響により市の貴重な財産である基金が減少する一方で、市債の増加により今後の財政運営は極めて厳しい状況にあり、引き続き大きな課題である。

みどり保育園、北原児童館、青嵐中学校建てかえをはじめ、総合計画事業を中心に行政の継続性を維持しており、また、乳がん検診の充実、平日小児救急医療事業の実施、リサイクルプラザの建設の1年延伸などを評価する。指定管理者制度への移行は、公募までの間に、事業、施設のあり方を含めて十分に検討し、慎重に対応するよう要望する。

賛　成　車座集会など公約を守る政治姿勢を評価

日本共産党西東京市議団　安斉　慎一郎

「三位一体改革」の影響は20億円余の減額。国に対し声を上げよ。

市民の所得は依然として減少傾向である。行財政改革大綱策定は「住民の福祉の増進」「情報公開・市民参加」を基本にせよ。

乳幼児医療費無料制の拡充、30人学級、中学校完全給食、学校図書館専門員拡充などに全力を挙げよ。

知的障害者と認知症高齢者の生活寮の増設、健康診査とがん検診、雨水対策工事、心身障害学級、通級学級の増設、青嵐中学校建てかえなどは市民要求にこたえたもの。車座集会、市長車廃止など公約に沿った政治姿勢を評価して賛成する。

賛　成　市政を厳しく監視し市民要望の実現を！

西東京市議会公明党　小幡　勝己

保谷駅南口再開発・住吉公民館移転など、市長が選挙で公約した事業の見直しを撤回したことは、市民の厳しい判断にゆだねたい。

17年度予算については、公明党が推進する①乳幼児医療費助成・所得制限の撤廃と年齢引き上げを来年度に実施②中学校給食・早期実施の具体的な取り組み③スクールガードの段階的な全校配備など、7項目の予算要望に対して、前向きな回答を得ることができた。

市長の政治姿勢を容認するものではないが、市民生活への影響を考慮し、本予算に賛成する。今後も市政に対する議会のチェック機能を果たしていく。

賛　成　箱物より環境・福祉優先に

生活者ネットワーク　渡辺　嘉津子

三位一体改革の影響、市税収入の低迷等で大幅な財源不足を基金で補う厳しい予算編成だ。基金も底をつく今、将来にツケを残さないため、箱物建設は極力抑え環境・福祉優先、市民との協働促進が必要だ。評価点は①リサイクルプラザ建設の見直し②子どもの虐待防止協議会設置③財政白書の作成④NPO企画事業など。今後は保谷駅南口再開発事業の説明責任。東大農場の緑を残す努力。障がい児介助員の当事者参加での制度設計。市民サービスの総点検は行政の守備範囲を定め、情報公開の徹底と市民参画で行うことなど要請する。透明性高い市政運営を。

賛　成　あの時の汗と涙を忘れずに市政執行を

自由民主党西東京市議団　遠藤　源太郎

新市長に対する期待は大きいが、暫定予算2カ月に対し市民生活への影響が指摘され、つまずいた。政策の早期実現に、はやる気持ちもわかるが、古来「親の業3年」と、急激な変化は必ずしも好まれない。行政の継続性を考慮し、じっくりと改革を進めるべきだ。

5％のマイナスシーリング、13億円もの財源不足と財政環境は極めて厳しく、市民生活への影響も懸念されるが、代表質問で明らかになった市長の政治姿勢、総括質疑で提案した4歳児未満医療費の全面無料化等11項目に前向きに取り組むという姿勢を評価し、一般会計予算に賛成する。

予算審査の概要

◆平成17年度一般会計暫定補正予算

【説明】第1回定例会の予算特別委員会における審議経過を踏まえ、暫定予算の市民生活への影響等を考慮し、暫定期間の1カ月延伸に伴う所要経費を計上したもの。

【主な質疑応答】

暫定補正予算提出について

もう少し慎重に判断し対応すればよかったとの反省が残る。議会の前向きな提言に感謝申し上げる。

保谷駅南口再開発事業の見直しについて

方針決定について権利者には説明し、意見交換を行った。市民への情報提供は今後検討したい。

いこいの森公園開園式典費用について

暫定予算の趣旨にそぐわないとの指摘を踏まえて削除した。本予算への計上は検討中。

【結果】賛成多数で可決

◆平成17年度一般会計当初予算

【説明】予算総額548億3千700万円。債務負担行為は、まちづくり事業用地購入費など24件を設定。地方債は、みどり保育園整備事業など14事業、49億3千880万円の借入限度額を予定。一時借入金の最高額は60億円と定める。

【主な質疑応答】

みどり保育園民営化について

業者の選定委員会は、保護者2名を含め7名で構成。書類審査の後公開プレゼンテーションを行う。守秘義務は、委託事項の仕様書に明記する。

リサイクルプラザについて

中止を含めて見直すことはマニフェストに明確にうたっており、議会を軽視しているつもりはない。1年以内に見直しさせていただきたい。

乳幼児医療の無料化について

足もとを再検証し、来年以降できる限り早くマニフェストの目標実施に向けて検討したい。

行政改革に関する決意について

現在のままでは19年度にも財政調整基金が底をつく。行政に何でもやってもらうという時代ではない。原点をもう一度見つめ直して地域の底力を発揮できるようにしたい。

産業振興検討懇談会について

（仮称）産業振興条例についてご検討いただくことを目的として設置する。大型店舗全国チェーン店の商店会への加入の促進、空き店舗対策、拠点施設の整備などについても投げかける。

いこいの森公園の記念式典について

公園をつくるに当たってお世話になった方々へのお礼、ボランティア活動の市民への周知を内容としたい。日取りは未定だが秋口までに行いたい。

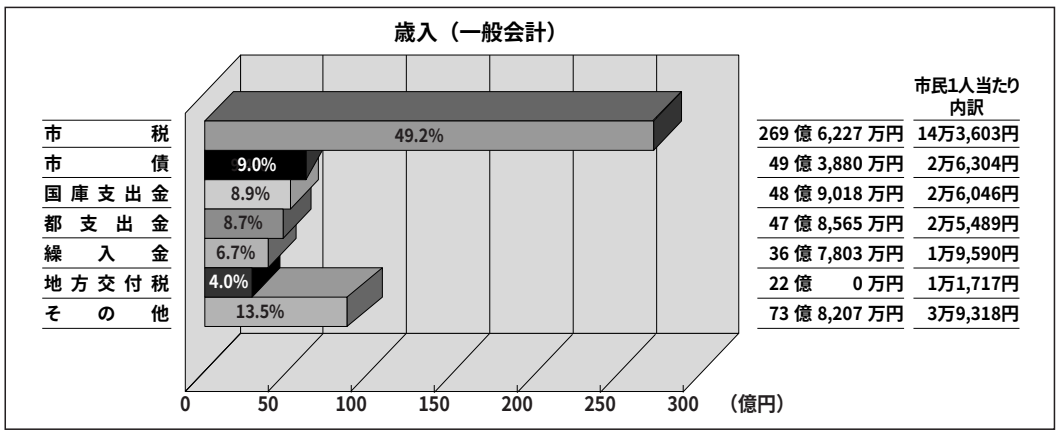
普通学級に通学希望する障害児への介助員配置について

基本的には教育委員会との合意が必要。適正就学等の検討、コーディネーター、ボランティア等の問題がある。他市等の調査研究が必要。

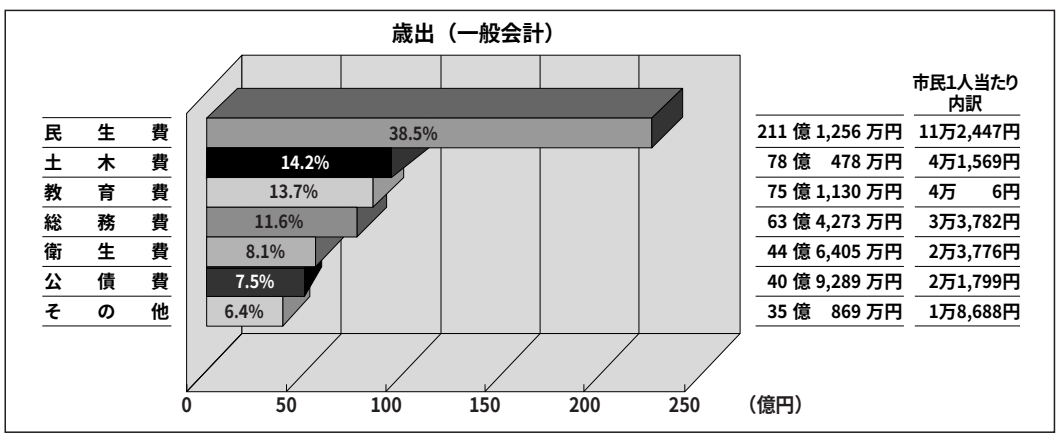
【結果】賛成多数で可決



当初予算の概要・常任委員会の主な審査状況



		市民1人当たり内訳
市税	269億6,227万円	14万3,603円
市債	49億3,880万円	2万6,304円
国庫支出金	48億9,018万円	2万6,046円
都支出金	47億8,565万円	2万5,489円
繰入金	36億7,803万円	1万9,590円
地方交付税	22億0万円	1万1,717円
その他	73億8,207万円	3万9,318円



		市民1人当たり内訳
民生費	211億1,256万円	11万2,447円
土木費	78億478万円	4万1,569円
教育費	75億1,130万円	4万6円
総務費	63億4,273万円	3万3,782円
衛生費	44億6,405万円	2万3,776円
公債費	40億9,289万円	2万1,799円
その他	35億869万円	1万8,688円

平成17年度 当初予算の概要

会計区分	平成17年度予算額	平成16年度比増減額	増減率
一般会計	548億3,700万円	△53億2,300万円	-8.8%
国民健康保険特別会計	146億351万円	11億6,841万円	8.7%
下水道事業特別会計	45億9,173万円	△138万円	0.0%
受託水道事業特別会計	14億427万円	△2億4,563万円	-14.9%
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計	1億4,943万円	△5,214万円	-25.9%
老人保健(医療)特別会計	135億1,246万円	5億2,320万円	4.0%
駐車場事業特別会計	1億9,901万円	△549万円	-2.7%
介護保険特別会計	80億2,466万円	4億7,235万円	6.3%
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計	29億9,190万円	25億3,332万円	552.4%
合計	1,003億1,396万円	△9億3,036万円	-0.9%

常任委員会の主な審査状況

企画総務委員会

「手数料条例の一部を改正する条例」

【説明】個人情報保護の観点から住民基本台帳の閲覧手数料を改定し、あわせて法令の改正に伴う規定の整備を行うもの。社会的な意識の変化に対応し、住民基本台帳法第11条による閲覧を制限する全国的な動きに沿うもので、大量閲覧の抑止効果が見込まれる。

【質疑応答】個人の場合、住民票の写しの請求を利用される場合が多く、改正による影響は少ないと考える。また、同時期の改正を検討している立川市、国立市も本市同様30分3千円を予定している。

今回の改正は、いわば経過措置として、現時点でできる限りの対応を図る趣旨であり、今後の対応は、国の検討会から10月に最終報告が出される予定なので、それを待って検討する。

【結果】賛成全員で可決

文教委員会

「スポーツ施設条例」

【説明】指定管理者制度の導入及び(仮称)西東京市体育館の建てかえにより、現在7条例で管理運営されている10施設を含め、使用区分等の統合を図りながら総合条例として制定するもの。

【質疑応答】指定管理者の公募は一括で行う。

指定管理者との協定は、市が締結するものと考えている。

【結果】賛成全員で可決

「学習指導要領の目的を十分に踏まえた中学校の歴史・公民教科書の採択を求める陳情」

【趣旨】西東京市教育委員会において行われる平成17年度の中学校歴史・公民教科書採択事務において、指摘する諸点に留意し、自国を愛する姿勢が最もあらわれている教科書が採択されるようお願いする。

【質疑応答】学習指導要領に掲げる「わが国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を深める」「各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力しあうことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる」という目標に照らし合わせて、研究に当たる教員は、各社の教科書の意見、資料を作成する。

教科書採択は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、教育委員会がその立場と責任においてみずから判断することとされており、議会に提出された陳情等の採択・不採択が影響を及ぼすことがあってはならないと考えている。

【結果】賛成多数で採択


スポーツセンター(中町1丁目)



厚生委員会

「市立児童館条例の一部を改正する条例」

【説明】子ども福祉審議会の答申を受け、学童クラブ育成料を現行の5千円から4千円とし、新たに実費相当額程度として1千円の間食費をご負担いただくもの。

【質疑応答】間食費を育成料と別枠で徴収しているのは15団体。1千200円から2千円程度の団体が多い。

条例上は実費相当とし、減免については規則で定める。

育成料の減免は従来どおり行うが、間食費については、慎重な審議の上であまねくご負担いただくこととした。当事者参加による審議の結果であり、保護者等の理解は得られていると考えている。

未納は15年度決算で900万円程度。間食費の未納が質の低下につながらないよう配慮していきたい。

将来的な見通しとしては、3年ごとの使用料手数料の見直しに合わせ、質や安全に関する要望等にも配慮していきたい。

【結果】賛成多数で可決

建設環境委員会

「地区計画等の案の作成手続に関する条例」

【説明】地区計画とは、比較的小規模な地区を対象に、その地区の特性にふさわしいきめ細かな計画を定め、それを都市計画として決定する制度で、その作成手続等を定めるもの。

【質疑応答】地区計画の提案の具体的な想定としては、例えば、住友重機跡地の戸建て住宅の地区で、工業系の用途になっているため将来工場ができる可能性もあるので、住民が将来にわたって良好な住宅環境を保ちたいということであれば、用途を住居系に限る、あるいは最低敷地面積が100㎡を下回らないようにする、などの計画を定めることができる。また、ひばりヶ丘駅北口で基本構想を定めているが、その中で地域にふさわしいまちづくりをするため、建物の高さや意匠をそろえるなどの地区計画を定めることも可能。

【結果】賛成全員で可決

「駐車場条例の一部を改正する条例」

【説明】地方自治法の改正により指定管理者制度が設けられたことに伴い、アスタ市営駐車場に同制度を導入する必要があるため、規定の整備を行うもの。

【質疑応答】導入のメリットは、コスト面のほか、公募に際して議会で提出された要望や市民の要望を業者に伝え、どのような工夫ができるかご提案いただく中で総合的に判断したい。

OBが就職した会社について、一定期間指定しないとする欠格事由を設けることについては、今後の課題としたい。

【結果】賛成全員で可決



西東京市 議会だより

議決結果（議案・請願・陳情）・写真募集

第2回臨時会・第2回定例会　議案の議決結果一覧　　○賛成　×反対

件名＼会派（　）は所属議員数	西東京市議会公明党(7)	日本共産党西東京市議会議団(6)	自由民主党西東京市議団(6)	自由民主党(5)	民主党西東京(3)	生活者ネットワーク(3)	市民クラブ(2)	無所属・無所属クラブ(1)	無所属・無所属市民の会(1)	結果
第２回臨時会										
暫定補正予算 ●一般会計予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
暫定補正予算 ●国民健康保険特別会計予算（第1号） ●下水道事業特別会計予算（第1号） ●受託水道事業特別会計予算（第1号） ●中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算（第1号） ●老人保健（医療）特別会計予算（第1号） ●駐車場事業特別会計予算（第1号） ●介護保険特別会計予算（第1号） ●保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他 ●市税条例の一部を改正する条例の専決処分について ●都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第２回定例会										
当初予算 ●一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
当初予算 ●国民健康保険特別会計予算 ●下水道事業特別会計予算 ●受託水道事業特別会計予算 ●中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算 ●老人保健（医療）特別会計予算 ●駐車場事業特別会計予算 ●介護保険特別会計予算 ●保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
制定条例 ●市民交流施設条例 ●地区計画等の案の作成手続に関する条例 ●スポーツ施設条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
改正条例 ●手数料条例 ●市税条例 ●保谷こもれびホール条例 ●市立児童館条例 ●市立公園条例 ●駐車場条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他 ●工事請負契約の締結について（4件） ●収入役の選任につき同意を求めることについて ●監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案 ●地方六団体改革案の早期実現に関する意見書	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 ●地方議会制度の充実強化に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

継続審査
- ●市長等の退職手当の特例に関する条例
- ●教育委員会教育長の退職手当の特例に関する条例

請願・陳情の結果

（　）は付託委員会

採択されたもの

○西東京市施設内における和弓場設置に関する陳情〈趣旨採択〉（文教）

○学習指導要領の目的を十分に踏まえた中学校の歴史・公民教科書の採択を求める陳情（文教）

○補助金支給に関する陳情〈趣旨採択〉（厚生）

○こもれびホールの事業存続に関する陳情（厚生）

不採択となったもの

○「公的年金等控除」の縮小・「老年者控除」の廃止の中止と定率減税の廃止を行わないことを求める陳情（企画総務）

○「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情（企画総務）

○教科書採択に関する陳情（文教）

○財団法人西東京市文化・スポーツ振興財団こもれびホール運営改革を求める陳情（厚生）

○大地震に備え保谷駅南口ペデストリアンデッキ計画の廃棄を求める陳情（駅周辺再開発等）

継続審査となったもの

○西東京市学齢期の障害児支援についての陳情（厚生）

○「東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合に情報公開条例制定を求める意見書」提出に関する陳情（建設環境）

○調布保谷線整備における住環境保全に関する陳情（建設環境）

○大地震に備え青梅・新青梅街道の歩道橋撤去を求める陳情（建設環境）

取り下げ

○全天候型総合和弓場の設置に関する請願（文教）

○西東京市緑町三丁目都営アパートへの駐車場設置計画の中止を求める陳情（2件）（建設環境）

意見書関係機関へ

地方六団体改革案の早期実現に関する意見書
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、郵政民営化・経済財政政策担当大臣、総務大臣、財務大臣

地方議会制度の充実強化に関する意見書
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣

人事

収入役　加藤　光章氏
監査委員　牧野　一夫氏（6月16日同意）

議員の辞職

蔵野　雅章（5月2日付）

掲載写真募集！

あなたの写真を市議会だよりに掲載しませんか？

次号（第22号）、次々号（第23号）の１面（カラー）をはじめ、市議会だよりに掲載する写真を募集します。まちで見かけたすてきな風景、心温まる情景、自慢のお子さん、紹介したい催しや場所等何でも結構です。あなたの写真を市議会だよりで公開してみませんか？

◆募集要項

○**規格**　未発表・未公開のオリジナル作品。原則としてカラー写真。プリントしたものの場合はＬ版以上のもの。デジタルカメラで撮影したものの場合はデータを収録したもの（フロッピーディスク、ＣＤ－ＲＯＭ等）。
なお、応募作品は原則としてお返しできませんのでご了承ください。


前回募集の入選作品

○**内容**　テーマ、ジャンル等特に問いません。ただし、人物が明らかに特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。

○**応募要領**　作品（またはそのデータを収録したもの）に、撮影者の①住所、②氏名（掲載に際して匿名を希望する場合はペンネームを併記してください。）、③電話番号、④撮影場所・年月日、⑤作品名及びその説明、⑥市外在住の方は西東京市との関わり（在勤・在学の場合は会社名・学校名を明記してください。）を別紙に添え、折れ曲がらないように下記にお送りください。

○**締切**　第22号分…平成17年９月30日（金）
第23号分…平成18年１月６日（金）当日消印有効

○**審査**　議会報編集委員会（第22号分は10月中旬、第23号分は平成18年１月開催予定）で審査します。

○**発表**　採用された作品は、市議会だより第22号または第23号に掲載します。編集上トリミングを行う場合もあります。なお、それ以外の作品についても順次掲載させていただく場合があります。

○**送付・お問い合わせ先**　〒188-8666　西東京市南町５－６－13
西東京市議会事務局庶務調査課　℡0424-64-1311内線1711

※　賞品等はありません。あらかじめご了承ください。

編集後記

暑くなれば冬がよい、寒くなれば夏が好き、人間とは、勝手な生き物だと思うが、思うだけでなく「どうしたら」まで考えることができるのも人間である。

今回の第２回定例会は、暫定予算２カ月、補正予算１カ月を受けての平成17年度の本予算審議でありました。代表質問等、活発な審議がされ、賛成多数で可決されました。

私たち議会報編集委員会は、少しでも議会のことを知っていただくため、さらにわかりやすい紙面にしていきたいと思います。ぜひとも皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。（Ｏ）

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています